



第54期決算説明資料

(2019年4月1日 ~ 2020年3月31日)

株式会社 **工ノモト**

(東証1部 証券コード:6928)

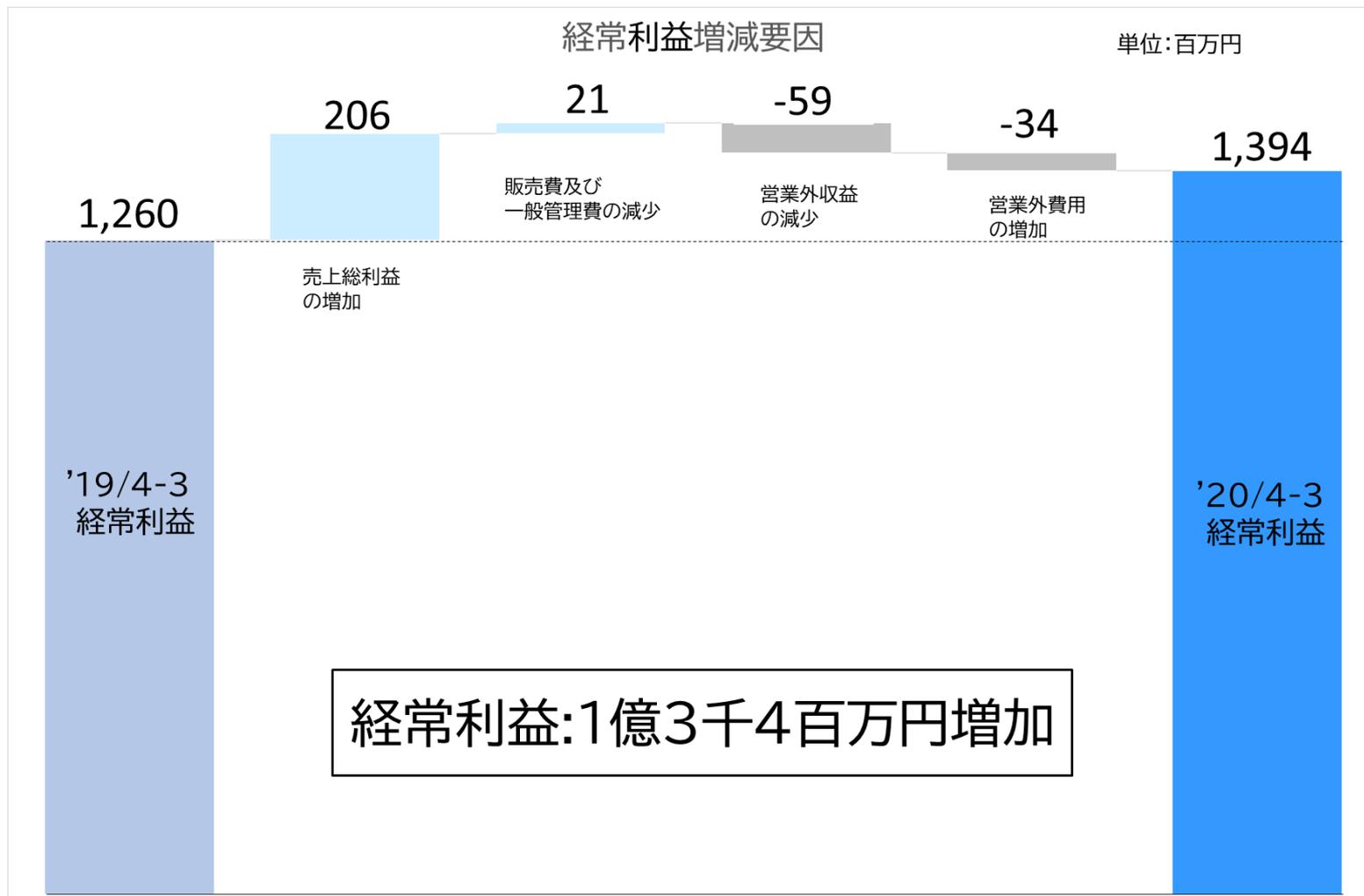
2020年3月期決算実績

- 売上高、営業利益、経常利益の増加
車載向けは販売台数が伸び悩んだが電装化傾向により増加基調
スマートフォンは予測を上回る需要増、ウェアラブルも好調に推移した
- 当期純利益は有価証券評価損、所有不動産の減損などでほぼ前期並み
- 新型コロナウイルス感染症の2020年3月期業績への影響は軽微だった

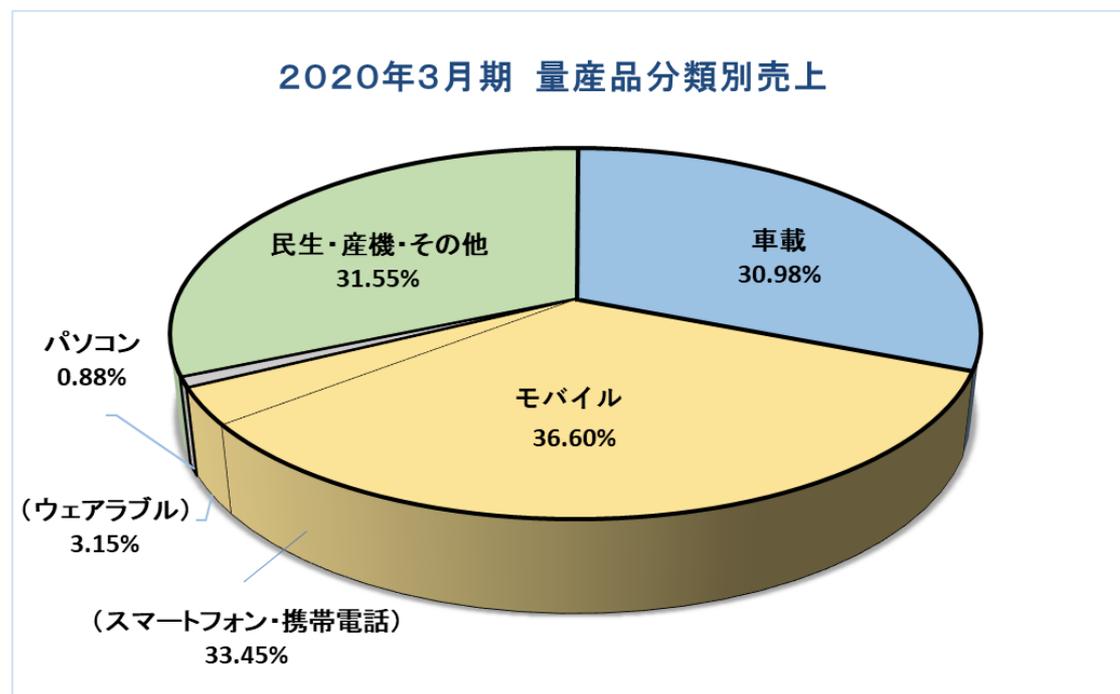
● 連結

(単位:百万円)	2019/3期 上半期累計	3Q	4Q	2019/3期 通期累計	2020/3期 上半期累計	3Q	4Q	2020/3期 4Q累計	前年同期比
売上高	10,150	5,644	5,253	21,047	11,103	5,718	5,826	22,647	7.6%
売上総利益	1,600	967	820	3,387	1,581	1,021	991	3,594	6.1%
販売費及び 一般管理費	1,056	581	619	2,256	1,074	533	627	2,235	-1.0%
営業利益	543	386	201	1,131	507	487	364	1,358	20.1%
為替差損益	27	-4	2	25	-25	6	-16	-35	-
経常利益	654	391	214	1,260	501	523	370	1,394	10.6%
当期純利益	521	276	115	912	359	376	178	912	0.0%
1株当たり純利益	76.63円	-	-	134.38円	53.42円	-	-	135.87円	1.1%
1株当たり純資産	2,161円	-	-	2,241円	2,185円	-	-	2,321円	3.6%

- ◆ 量産品目に於ける工程改善活動による生産性の向上から、売上利益上昇
- ◆ 営業外損益は主に円高による為替差損60百万円の影響が大きい



- 車載向け部品は1台当たりの電子部品搭載率の増加により堅調に推移
- モバイル向け部品については、スマホ部品が3Qから伸び年明け4Qまで好調を継続
- ウェアラブル端末向け部品はウォッチタイプに加え、ワイヤレスイヤホン向け需要も増加し成長基調
- 米中貿易摩擦の影響は2Q～3Qに限定的



2020年3月期 製品群別売上高

①IC・トランジスタ用リードフレーム

- ・自動車向け部品は底堅く推移
- ・民生用半導体部品の受注は比較的安定

②オプト用リードフレーム

- ・インフラ整備、アドバタイズメント需要は2019年初の調整局面以降、引き続き低調
- ・2Q以降は若干の持ちなおしも、年度を通してはっきりとした上昇には至らず

③コネクタ用部品

- ・車載向けの需要は、フィリピン・中国の海外生産品を中心に堅調な推移
- ・ウェアラブル向け部品の需要は増加傾向
- ・スマートフォン向け部品の需要が予測以上、また4Qも落ちずに好調を継続

④その他

- ・リレー部品、金型部品などが含まれ設備投資需要の動向に連動して増減

(単位:百万円)	2019/3期 上半期累計	3Q	4Q	2019/3期 累計	2020/3期 上半期累計	3Q	4Q	2020/3期 累計	前年同期比
IC・トランジスタ用 リードフレーム	3,717	1,940	1,856	7,513	3,760	1,807	1,919	7,485	-0.4%
オプト用リードフレーム	1,592	705	629	2,926	1,340	785	730	2,854	-2.5%
コネクタ用部品	4,405	2,783	2,565	9,753	5,643	2,936	2,975	11,554	18.5%
その他	435	216	203	854	358	189	204	752	-12.0%
合計	10,150	5,644	5,253	21,047	11,102	5,716	5,828	22,647	7.6%

- 売上増により、現預金・売掛金増加
- 自己資本比率 = 64.4%、2019年3月期(64.1%)から変動なし

(百万円)	2018/3期	2019/3期	2020/3期末	前期比
流動資産	12,433	12,484	13,304	6.6%
（内、現預金）	4,086	2,858	3,346	17.1%
（内、受取手形及び売掛金）	5,352	5,831	6,681	14.6%
固定資産	11,046	11,014	10,907	-1.0%
（内、有形固定資産）	9,681	9,993	9,831	-1.6%
総資産	23,479	23,498	24,211	3.0%
負債	8,718	8,428	8,601	2.0%
（内、有利子負債）	1,217	1,040	1,002	-3.7%
純資産	14,762	15,070	15,610	3.6%
負債純資産合計	23,479	23,498	24,211	3.0%

- 営業キャッシュフローは2,358百万円に増加、フリーキャッシュフローは856百万円へ
- 減価償却費の増加は金型償却費の増加による
- 2019年3月期の有価証券売却収入はCGコードに準拠した政策保有株式の処分
- 長期借入金はSDGsに関連する新規事業開発に向けた、グリーンローン調達によるもの

(百万円)	2019/3期	2020/3期	前期比 増減
営業活動によるキャッシュフロー	592	2,358	298%
税引前当期純利益	1,280	1,161	-9%
減価償却費	1,146	1,473	29%
法人税等の支払額	-337	-181	-46%
投資活動によるキャッシュフロー	-1,239	-1,502	21%
有形固定資産の取得による支出	-1,728	-1,472	-15%
投資有価証券の売却による収入	181	0	-
財務活動によるキャッシュフロー	-536	-334	-38%
長期借入れによる収入	0	500	-
長期借入金の返済による支出	-195	-157	-19%
配当金の支払額	-238	-238	0%

2021年3月期業績予想
及び 品目別等概況

- 新型コロナウイルス感染症の終息の時期や感染拡大が及ぼす影響範囲の予測が困難
- 各拠点の生産も継続しているが、サプライチェーンの状況や市場全体の在庫状況推量等の情報入手に至らず



- 適正かつ合理的な業績予想の見積りが非常に困難なことから業績予想及び利益配当予想は「未定」とし合理的に予想可能となった時点において 速やかに公表いたします。

① IC・トランジスタ用リードフレーム

☆ 2021年3月期・予測及び足元環境

- ・ モビリティ/車載電装機器の2019～2025年平均成長率は7.2%の予測(富士キメラ総研)とされる。
足下では新型コロナウイルス感染症の影響による販売台数の更なる減少も見込まれるが、長期的にはADASの普及等による電装化率の上昇が全体の部品需要数の増加に繋がる。
- ・ 民生向け等の汎用的用途の部品は前半は全世界的個人消費の激減等の影響を受けるが、後半以降一定の需要水準に向かうものと推測する。

② オプト用リードフレーム

☆ 2021年3月期・予測及び足元環境

- ・「WSTS 2019年秋季半導体市場予測」では、オプトエレクトロニクスの2020年成長率は前年を上回る12.5%と予測されているが、新型コロナウイルス感染症による世界経済減速の影響が含まれていないため、大きな伸びは期待できないと推測する。
- ・新しい製造プロセスを採用した日本メーカー製LED製品など高付加価値の製品に注力し復調を図る。
また、殺菌効果のある深紫外線発光ダイオード等、特殊用途の分野にて受注増が期待できる。

③ コネクタ用部品

☆ 2021年3月期・予測及び足元環境

- 5G転換期を迎える通信機器、コンピュータおよび情報端末、前年比3.5%の成長が予測されている。
(JEITA「電子情報産業の世界生産見通し2019」より)
但し、新型コロナウイルス感染症による世界経済減速の影響は含まれていない。
- 車載(エアバッグ関連等)向けは自動車メーカーの生産調整の影響を受ける。

概況および対策の状況

- 国内(山梨県・青森県・岩手県)、海外(フィリピン、香港、中国)のすべての拠点において、現在のところ従業員および関係者に感染の発生はない。
- 原材料、副資材等の供給に関わるサプライチェーンには重大な影響は出ていない。
- 海外向けのビジネスでは仕向け先のロックダウンなどが一部で発生している影響で販売先の受入れや物流面での遅延等の影響が出ているが現状において大きなオーダーのキャンセルなどは発生していない。

➤ 感染症対策

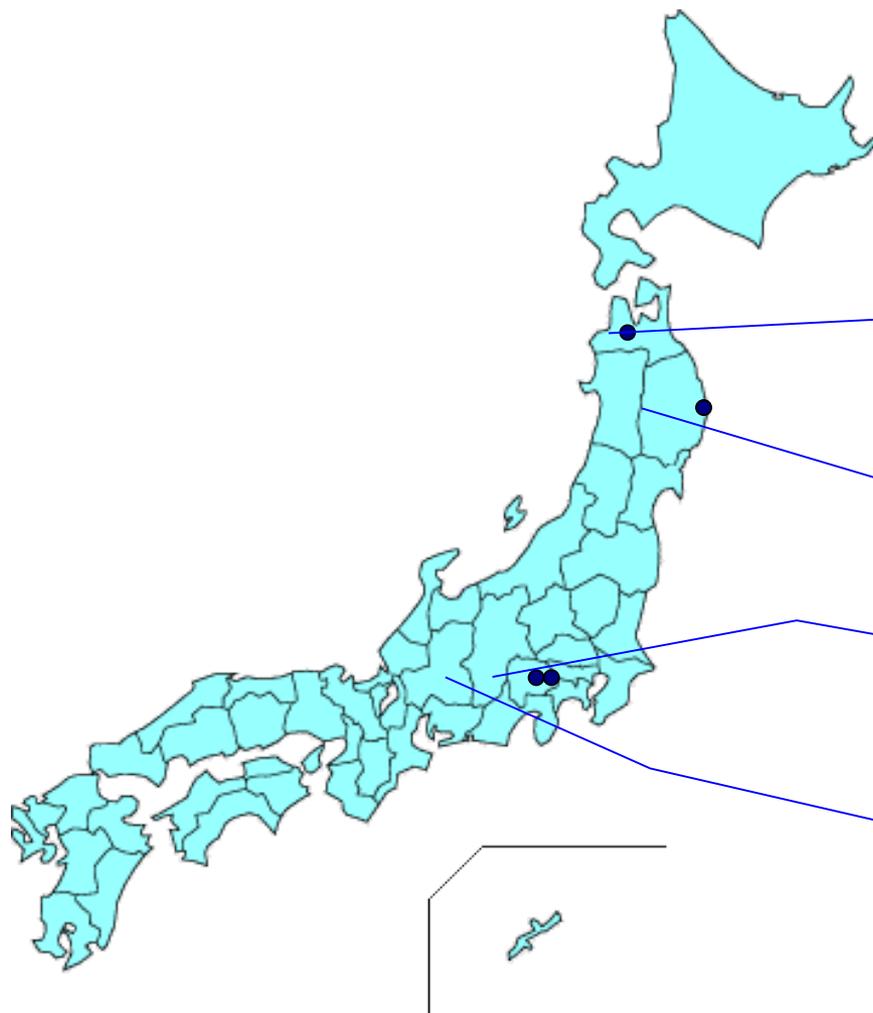
国内・海外を問わず各拠点で同水準の感染予防策の徹底を行っている。

- 定期的な事業所内の消毒と記録
- マスクや消毒剤を各拠点で連携して調達
- 休日を含めた従業員全員の最低1日2回の検温の実施と記録の管理
- 出勤時の社屋入構前に全社員の検温実施、軽微でも異常がある場合は即時帰宅を指示
- ご来社の皆様への検温の実施と記録、マスク着用と手指消毒のお願い
- 可能な限りにおける在宅勤務と時差出勤の推進と関連規程や体制の整備
- 多人数の会議の自粛および出張の原則禁止など

ご清聴、誠にありがとうございました。



- 【会社名】 株式会社 **エノモト**
- 【英訳名】 ENOMOTO Co.,Ltd.
- 【証券コード】 6928（東証一部）
- 【URL】 <http://www.enomoto.co.jp/>
- 【代表者】 代表取締役社長 武内 延公
- 【問合せ先】 経営管理グループ統括執行役員 山下 久幸
- 【E-Mail】 ir@enomoto.co.jp
- 【本社所在地】 山梨県上野原市上野原8154-19
- 【電話番号】 0554(62)5111(代表)



・津軽工場

青森県五所川原市大字漆川字玉椿191-1
TEL.0173-33-0570 FAX.0173-34-5206

・岩手工場

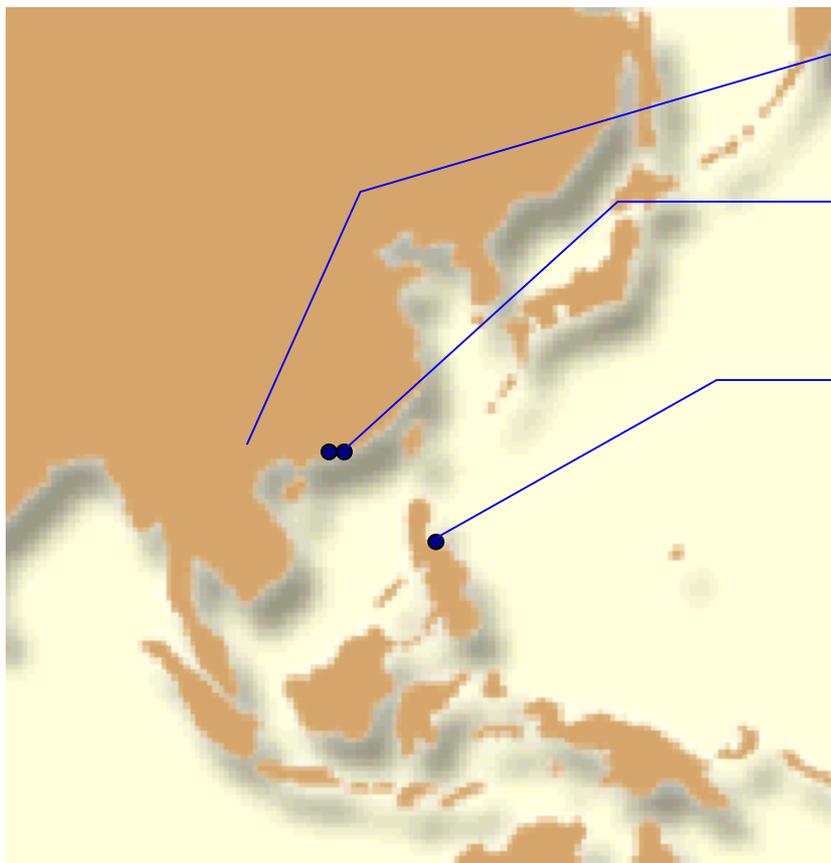
岩手県上閉伊郡大槌町大槌第10地割39
TEL.0193-42-8511 FAX.0193-42-8513

・本社/本社工場(上野原)

山梨県上野原市上野原8154-19
TEL.0554-62-5111 FAX.0554-63-4193

・本社工場(塩山)

山梨県甲州市塩山熊野666
TEL.0553-32-1111 FAX.0553-32-1159



•ZHONGSHAN ENOMOTO Co.,Ltd.

広東省中山市火炬開闢区逸仙工業区
TEL.+86-760-8533-5111 FAX.+86-760-8533-5113

•ENOMOTO HONG KONG Co.,Ltd

香港九龍梳士巴利道3号星光行1805室
TEL.+852-2199-7848 FAX.+852-2199-7918

•ENOMOTO PHILIPPINE
MANUFACTURING Inc.

PEZA-Gateway Business Park Javalera Gen.Cavite
Philppine.
TEL.+63-46-538-8463 FAX.+63-46-46-538-8467

ENOMOTO Co.,Ltd.

注意事項

事業の展望、業績予想等の将来の動向にかかる記載につきましては、歴史的事実ではないため、不確定な要素を含んでおります。

現在入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想と異なる結果となる可能性があることをご了承願います。